

New! 東大野球部 メールマガジン Vol.27

ごあいさつ

7月に入ったばかりだというのに、例年にない暑さが続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか？

東大野球部では、雨が少なくなってきたこともあり、夏に向けて一層厳しい練習を続けております。先週末には東大球場で初めてのオープン戦がありました。今週末には京都大学、ソウル大学との交流戦が控えております。7、8月のオープン戦に向けて良い結果を残せるよう頑張りますので、ご声援の程よろしくお願い申し上げます。

東大野球部今後の予定

7月16日 vs 京都大学 @京大 G 11:00
vs ソウル大学 @京大 G 14:00

僕の野球人生②

今回も、「僕の野球人生」と題しまして、4年生に今までの自らの野球人生を振り返って思う事、また野球への想い等を語ってもらいます。第二回目は、和田選手と山越選手を特集いたします。

和田 響（四年・投手・旭丘）

僕が神宮で野球をしたと思ったきっかけは、07年秋の早慶1回戦です。両校無得点で延長に進んだこの試合は慶應のサヨナラ勝ちで、当時の慶應のエース加藤幹典投手は12回を一人で投げきり完封する素晴らしい投球でした。それを見ていた僕はとても感動し、神宮のマウンドに立って活躍したいと思いました。

東大野球部に入って神宮のマウンドに立つこともできましたが、僕はしばらくこの感動を忘れていました。思った投球ができず、しかもケガ続きでベンチを外れるようになり、スタンドで試合を見守るようになってからようやく当時の気持ちを思い出しました。

ラストシーズン、このままでは終わらせません。チームの雰囲気もいいので、何としても勝ちたいです。もちろん、部員全員が活躍して。



山越 徹（四年・内野手・土浦一）

父が高校野球の監督であった僕は少年野球をやっていた兄の影響もあり、小学2年生のときに野球を始めました。少年野球の監督さんは厳しいながらも野球の楽しさを教えてくれて、これが僕が常にモットーとしている「野球を楽しむ」ことの原点になっていると思います。

高校では父のチームで野球をしたいと小さい頃から思っていたので、地元の土浦一高に進学しました。親子であり監督と選手という関係は慣れるまでは大変でしたが、とてもいい経験ができました。人間的にも技術的にも成長でき、チームメイトにも恵まれて、とても充実した三年間でした。高校3年までは大学は筑波大学に進学しようと考えていましたが、担任の先生に挑戦してみたらと勧められ、東大を受験することにしました。東大で野球ができるきっかけを作ってくれた先生にはとても感謝しています。

大学でも良いチームメイトに恵まれて、すばらしい思い出をたくさん作ることができました。秋で選手としての野球人生は終わってしまいましたが、両親や兄をはじめ、多くの人に支えられてここまで野球を続けてこられたことに感謝しながら、悔いのないようにラストシーズンに向けて頑張ります。最後まで応援よろしくお願ひします。



写真（左）山下選手 （右）山越選手



東大野球部員の一日（第2回）

今回も「東大野球部員の一日」ということで、選手にそれぞれの一日の過ごし方を紹介してもらいます。今回は、二年の窪田真太郎選手（捕手・江戸川取手）を特集いたします。窪田くんは、先週のある一日について簡単に紹介してもらいました！

2年捕手・窪田くんの一日

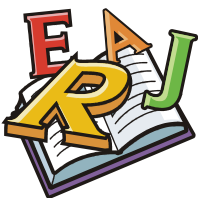


練習

朝はいつも6時に起きます。朝が弱い僕は眠気と葛藤しながら朝飯を食へて球場にもかいます。今は腰を痛めているのでポジ別練習は出来ませんが、そのほかの練習は充分出来るようになってきました。余計な部位を脱力させることを意識しています。

授業

この日は四限に英語 1列の授業がありました。がこの先生、やる気ないんです。リスニングするのですが、YouTubeとかから適当にとってきたのをながすだけ。さらに、まさかのスクリーンなし。もう、まさに睡眠学習ですね。

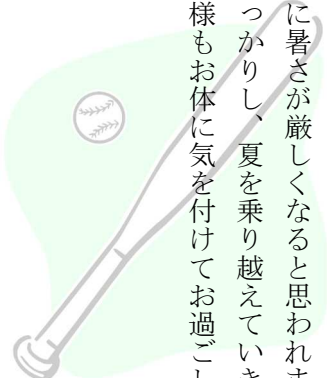




編集後記

野球人生を語ってもらった四年生の文面からは、野球に対する思いが伝わったかと思えます。あと2か月で最後のシーズンを迎える四年生の夏の活躍にご期待ください。

夏に近づき、さらに暑さが厳しくなると思われませんが、体調管理をしっかりし、夏を乗り越えていきたいと思えます！皆様もお体に気をつけてお過ごしください。



お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5800

メールアドレス office@tokyo-hbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

